

# 学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【中学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

### 生活習慣等に関する調査

質問項目の内、さいたま市が重視している12項目を抜粋して掲載しています。

質問項目	さいたま市の回答状況	自分の回答
<b>将来に関する意識</b>		
① 将来の夢や目標をもっている。	%	%
<b>学校生活</b>		
② 学校に行くのは楽しい。	%	%
<b>自尊意識</b>		
③ ものこを最後までやり遂げてうれしかったことがある。	%	%
④	%	%
⑤	%	%
<b>学習状況等</b>		
⑥ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。	%	%
⑦ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	%	%
<b>学習状況等</b>		
⑧ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。	%	%
⑨ 読書が好き。	%	%
<b>キャリア教育</b>		
⑩ 学ぶことや働くことの意義を考えたこと、自分の将来とのつながりを感じたこと。	%	%
<b>規範意識</b>		
⑪ 学校のさまり(規則)を守っている。	%	%
<b>家庭でのコミュニケーション</b>		
⑫ 家の人と学校での出来事について話をしている。	%	%

**表の見方**

○さいたま市の回答状況  
今回のさいたま市学習状況調査「生活習慣等に関する調査」の各質問項目に、肯定的な回答(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」や「している」「どちらかといえばしている」など)を選択した中学校第2学年の生徒の割合(%)を示しています。

○自分の回答  
自分が、肯定的な回答をした質問項目に◎が表示されています。

調査結果から、自分の生活で直面していると思うことを記入して、今後の生活に生かしましょう。

市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。

さいたま市教育委員会

### 令和4年度 さいたま市学習状況調査【中学校第2学年】

## 学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）

お子さんの正答数を示しています。

市の平均正答数を示しています。分母は問題数を示しています。 ※ここでは、国語は、全19問のうち、市の平均正答数は〇〇問であることを示しています。

#### 国語

自分の正答数	問	市の平均正答数	問/22問
算数の伏し方(9問)			
読むこと(5問)			
書くこと(2問)			
話すこと・書くこと(5問)			
我が国の書物文化(3問)			

#### 数学

自分の正答数	問	市の平均正答数	問/18問
関数(3問)			

領域等の正答率を示しています。実線でお子さんの正答率を、点線で市の平均正答率を示しています。

#### 社会

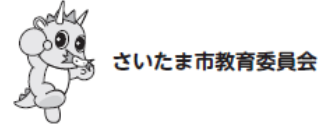
自分の正答数	問	市の平均正答数	問/25問
地理的分野(14問)			
公民的分野(0問)			
歴史的分野(11問)			

#### 理科

自分の正答数	問	市の平均正答数	問/26問
エネルギー(7問)			
地球(6問)			
生命(7問)			

- ◎正答数  
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをみるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- 市の平均正答率  
さいたま市の児童が、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- 自分の正答率  
あなたが、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。

【令和4年度発行】  
さいたま市立教育研究所



名前 \_\_\_\_\_

「学力に関する調査」の各設問ごとの解答状況等を確認することができます。  
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

令和4年度 さいたま市学習状況調査【中学校第2学年】

今年度	アドバイス
○	さらに、いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。
×	同じような問題をくり返し解いて、力を伸ばしていきましょう。



調査結果表

2年 名前

国語 さいたま市の生徒が各設問に正答した割合(%)を示しています。  
 ○:正答 ×:誤答 -:無解答を示しています。

領域	大問	小問	平均正答率	設問のねらい
読書とくらし	1	1		物語の動きについて理解し、語や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
		2		自分の考えが分かりやすく伝わるように、書き手を意識しながら話す事柄の順序や表現などについて考えているかどうかをみる。
	2	3		文の成分の筋路について理解しているかどうかをみる。
		4		読み手の立場によって文章を捉えるにあたり、自分の考えを伝えたり印象付けたりする上で効果的な要素などを確かめているかどうかをみる。
読書とくらし	1	1		目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈しているかどうかをみる。
		2		接続する語句の役割について理解し、文章の構造を捉えることができるかどうかをみる。
		3		文章の中心的部分と付加的な部分などについて筋路を基に捉えることができるかどうかをみる。
	3	主語		主語と述語との関係について理解しているかどうかをみる。
		4		主語と述語との関係について理解しているかどうかをみる。
		5		情報の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈しているかどうかをみる。
我が国の歴史・文化	4	1		現代語訳を手掛かりに作品を読むことを通して、登場人物の行動を考えることができるかどうかをみる。
		2		文章の書きまりを理解しているかどうかをみる。
		3		漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解しているかどうかをみる。
我が国の歴史・文化	5	1		文脈に即して漢字を使うことができるかどうかをみる。
		2		表現の技法について、その意味や用法とともに理解しているかどうかをみる。
		3		文の成分の筋路について理解しているかどうかをみる。

問題ごとの市の平均正答率を示しています。

数学

領域	大問	小問	平均正答率	設問のねらい
数と式	1	(1)		分数を含む整式の加法と減法、分合法則の計算をすることができる。
		(2)		展開式どうしの乗法、除法の計算をすることができる。
		(3)		与えられた説明を振り返って考え、式変形の意味を捉えることができる。
2		(1)		二元一次方程式の解の意味を理解している。
		(2)		一次関数の式を理解している。
関数	3	(1)		一次関数について、xの値の増加に伴うyの増加量を求めることができる。
		(2)		表やグラフの変化を読み取り、変化や対応の様子を根拠に予測することができる。
		(3)		表やグラフの変化を読み取り、変化や対応の様子を根拠に予測することができる。
図形	1	(1)		図形の移動を理解している。
		(2)		半径と弧の長さから、おうぎ形の中心角を求めることができる。
	4	(3)		断体の見取り図から、体積を求めることができる。
		(4)		投影図から考えられる立体を判断することができる。
5		(1)		線分上の点を通る直線の作図の方法について理解している。
		(2)		多角形の内角の和を求めることができる。
データの活用	7	(1)		既習の図形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。
		(2)		ヒストグラムから必要な情報を読み取ることができる。
		(3)		箱線図、相対度数、中央値、最頻値の意味を理解している。
数と式	8	(1)		与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる。
		(2)		連立方程式を解く過程を、事象に即して解釈することができる。

社会

領域	大問	小問	平均正答率	設問のねらい
地理的分野	1	(1)		地球儀を基に、世界の地域構成に関して理解している。
		(2)		熱帯の気候の特色を理解し、資料からその特色を示す雨雲図を選ぶことができる。
		(3)		緯線と経線が直角に交わっている地図上の0度の経線(赤道)の位置について理解している。
	2	(1)		複数の資料を基に、アジア州の人口と産業の変化の特色について読み取ることができる。
		(2)		複数の資料を基に、ヨーロッパ州におけるヨーロッパ連合が抱える課題について、読み取ることができる。
	3	(1)		資料から、モノカルチャー経済の特徴が抱える課題について読み取ることができる。
		(2)		資料を適切に読み取り、日本の7地方区分について理解している。
歴史的分野	4	(1)		地図を適切に読み取り、都道府県の位置と名称(振動線)について理解している。
		(2)		地図を適切に読み取り、日本海側の気候の特色を理解し、その特色を示す雨雲図を選ぶことができる。
		(3)		地図を適切に読み取り、日本の人口密度について、資料から示す文章を選ぶことができる。
	5	(1)		ある都市(ニューヨーク)と日本の時差を正しく読み取ることができる。
		(2)		歴史上の人物について、年代の古い順に並べ替えることができる。
		(3)		藤原氏が活躍していた時代につくられた文化財について理解している。
歴史的分野	4	(1)		徳川吉宗が行った改革について理解している。
		(2)		豊臣秀吉が実施した政策について理解している。
		(3)		聖武天皇が活躍した時代について理解している。
	5	(1)		中世の時代区分について、理解している。
		(2)		世紀と西暦の関係について、理解している。
		(3)		鎌倉幕府が置かれた場所を地図上から選ぶことができる。

出題のねらいを示しています。

国語でがんばりたいこと

数学でがんばりたいこと

社会でがんばりたいこと

理科でがんばりたいこと

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。